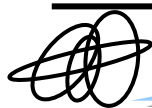


# VDR 消費者情報



特集：子育てママの食事への意識

## 調査の概要

- 調査方法：インターネット調査
- 調査期間：2016年3月3日～4日
- 調査対象：M.netインターネット調査モニター  
長子が小学生以下の母親
- 調査数：800 調査エリア：全国

平成28年4月19日発行(第28号)

発行者：坂上眞介 編集長：相野谷竜氏  
東京都品川区西五反田8-3-16

西五反田8丁目ビル4F

株式会社市場開発研究所

連絡先：Tel: 03-5436-6222  
Fax: 03-5436-6232

## 調査の背景

先日、国勢調査の速報値が公表され、調査開始以来初めて人口が減少に転じたと発表されました。こうした人口減少に伴い、働き手も減少する懸念から、女性の社会進出がより推進されています。しかし、子育て世帯は家事・育児もあり、さらに仕事もとなると、女性の負担は増えます。また、食事は特に気を使うことが多く、子育てママにおいては、子どもの栄養バランス・家計状況・調理の手間はもちろん、最近では食品の安全性も、廃棄品の流用・消費期限の偽装・放射能問題などから気にされており、多くの課題を抱えています。

こうして子育てママの役割が増え、多忙になる中で安全や栄養・家計状況などの食事への意識はどのようになっているのでしょうか。インターネットでアンケート調査を行い、現状を調べました。

## ●調査結果＜要約＞

**安全性・栄養バランス・手料理を大事にしているが、半数以上はメニューを考えるのが辛い  
また、若年層や世帯年収が低いほど、メニューを考えるのが辛い傾向**

- ◆ 子育てママは、「安全性から食材の産地は重要」、「食事は子どもの栄養バランスを心がけている」、「子どもの食事は、母親の手料理が良い」の各意識がそれぞれ7割を超え、子育てママの共通認識であると考えられます。
- ◆ 「食事のメニューを考えるのが辛い」が半数を超え、レシピサイトが普及しているものの依然として課題があると推察されます。
- ◆ 年代が低い層ほど、「インスタント食品に抵抗がない」、「子どもの食事は、母親の手料理が良い」、「食事のメニューを考えるのが辛い」が高くなる傾向です。
- ◆ 世帯年収が低い層ほど「食事のメニューを考えるのが辛い」が高くなる傾向です。
- ◆ 食事にお金をかけている層は、「安全性から食材の産地は重要」、「食事は子どもの栄養バランスを心がけている」が9割前後を占め、安全性・栄養バランスを重視していることがより顕著です。

# ●対象者プロフィール

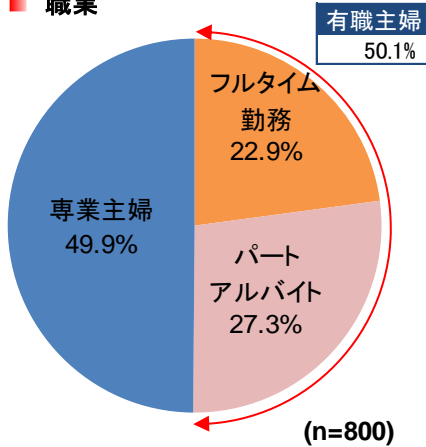
- 本調査では、長子が小学生以下の母親を対象とし、長子の学齢×性別で均等回収しました。
- 職業は、有職と専業主婦がそれぞれ半数ずつです。年齢は、30代が5割、40代が4割、20代は1割に満たないです。
- 世帯年収は“400～800万円未満”がボリュームゾーンで、約半数を占めます。

## ■ 長子学齢×長子性別(回収割付)

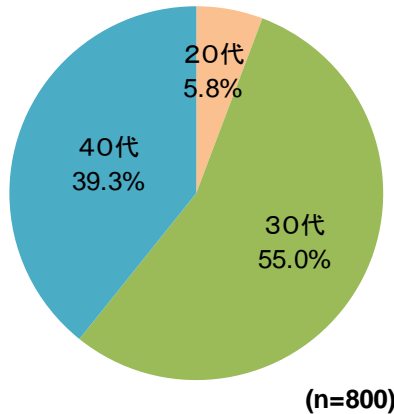
	幼稚園 保育園	小学一年 ～二年	小学三年 ～四年	小学五年 ～六年
男子	100	100	100	100
女子	100	100	100	100

(s)

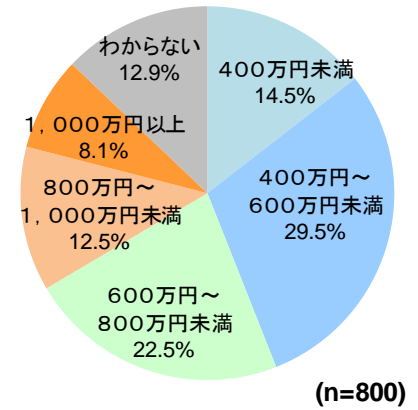
## ■ 職業



## ■ 年齢



## ■ 世帯年収

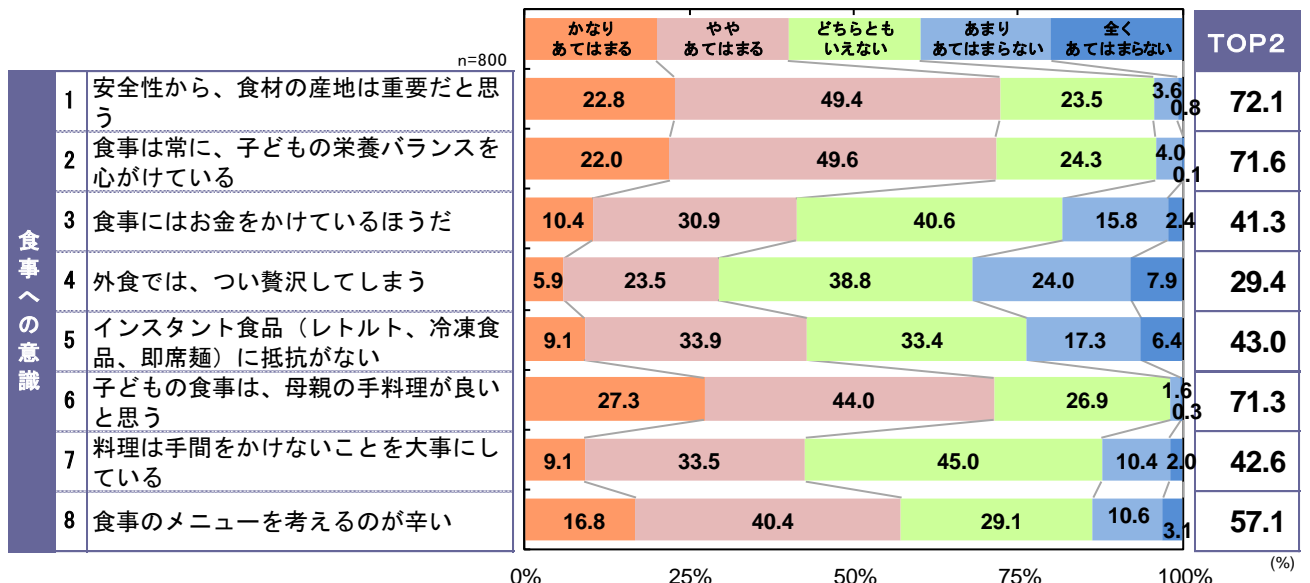


# ●調査結果<詳細>

## 安全性・栄養バランス・手料理を大事にしているが、半数以上はメニューを考えるのが辛い

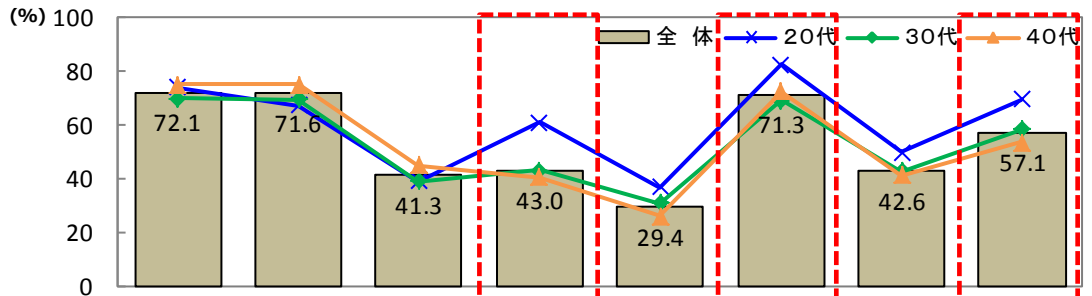
- 「安全性から食材の産地は重要」、「子どもの栄養バランスを心がけている」、「子どもの食事は、母親の手料理が良い」が7割を超え、多くの母親が大事にしていることがうかがえます。
- また一方で、「食事のメニューを考えるのが辛い」といった悩みも半数以上あがりました。

TOP2=「かなりあてはまる」+「ややあてはまる」



**若年層ほど、「子どもの食事は手料理が良い」としながらも「インスタント食品」への抵抗が少ない  
また、「食事のメニューを考えるのが辛い」といった悩みもうかがえる**

- 年代別に意識をみると、年代が低い層ほど「インスタント食品に抵抗がない」、「子どもの食事は、母親の手料理が良い」「食事のメニューを考えるのが辛い」が高くなる傾向です。



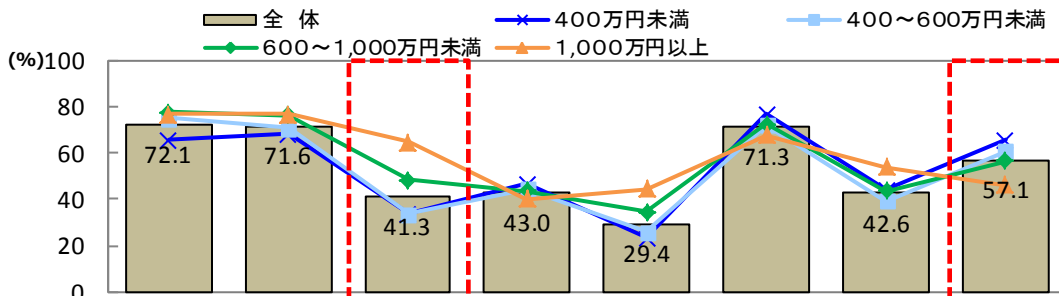
**年代別**

TOP2のスコアを記載  
TOP2=「かなりあてはまる」+「ややあてはまる」

		1	2	3	4	5	6	7	8
n		800	800	800	800	800	800	800	800
全体		72.1	71.6	41.3	43.0	29.4	71.3	42.6	57.1
年代	20代	73.9	67.4	39.1	60.9	37.0	82.6	50.0	69.6
	30代	69.8	69.5	38.9	43.0	30.9	69.3	42.7	58.4
	40代	75.2	75.2	44.9	40.4	26.1	72.3	41.4	53.5

**世帯年収が低い層ほど、食事にお金をかけられず、食事のメニューに悩んでいる傾向がうかがえる**

- 世帯年収別に意識をみると、年収が低い層ほど「食事のメニューを考えるのが辛い」が高く、「食事にお金をかけている」が低い傾向です。



**世帯年収別**

TOP2のスコアを記載  
TOP2=「かなりあてはまる」+「ややあてはまる」

		1	2	3	4	5	6	7	8
n		800	800	800	800	800	800	800	800
全体		72.1	71.6	41.3	43.0	29.4	71.3	42.6	57.1
世帯年収	400万円未満	65.5	68.1	33.6	46.6	23.3	76.7	44.0	65.5
	400～600万円未満	75.0	70.8	33.5	44.5	25.8	72.0	39.4	60.6
	600～1,000万円未満	77.5	76.4	48.2	43.6	34.6	72.5	43.6	56.4
	1,000万円以上	76.9	76.9	64.6	40.0	44.6	67.7	53.8	46.2

## 食事にお金をかけている層は、「安全性」「子どもの栄養バランス」重視が顕著

- ✦ 食事に関する意識TOP2別に、食事に関する意識TOP2をみると、食事にお金をかけている層は、「安全性から食材の産地は重要」「子どもの栄養バランスを心がけている」が9割前後を占めます。インスタント食品に抵抗がない層は、「食事にお金をかけている」「外食では、つい贅沢する」「料理は手間をかけない」「食事のメニューを考えるのが辛い」が高い傾向です。料理に手間をかけない層は、「食事のメニューを考えるのが辛い」が約8割を占めます。

### ■ 食事に関する意識TOP2 × 食事に関する意識TOP2

全体+15ポイント以上に網掛け

TOP2のスコアを記載  
TOP2=「かなりあてはまる」+「ややあてはまる」

		食事に関する意識 (TOP2)								
		1	2	3	4	5	6	7	8	
全体		800	72.1	71.6	41.3	43.0	29.4	71.3	42.6	57.1
食事に関する意識 (TOP2)	3 食事にはお金をかけているほうだ	330	88.2	92.4		46.7	46.7	84.5	50.3	59.4
	5 インスタント食品(レトルト、冷凍食品、即席麺)に抵抗がない	235	80.4	84.7	65.5	68.9		81.7	64.7	76.2
	7 料理は手間をかけないことを大事にしている	341	80.6	80.6	48.7	62.5	44.6	80.4		79.2
	8 食事のメニューを考えるのが辛い	457	80.1	78.6	42.9	54.3	39.2	78.8	59.1	

### 調査結果の考察

① いずれの属性も、「安全性」、「栄養」を重視。特に食事にお金をかけている層は重視

子育てママは「安全性」、「子どもの栄養」が考慮された商品に対しては、価格許容範囲が広くなると推察されます

② 若年層ほど、食事メニューを考えるのが辛い傾向

子育てママの若年層は、ネットリテラシーが高くレシピサイトを使いこなし、メニュー作りにも苦慮していないと考えていましたが実際は異なりました。「子どもの栄養」「家計状況」を考慮したメニューを考えるには、レシピサイトだけでは不十分かもしれません

③ 世帯年収が低い層ほど、食事メニューを考えるのが辛く、お金もかけない傾向

年収が低い層は、食事あまりお金をかけられないなか、「子どもの栄養」を考慮した食事メニューにしなくてはならず、負担となっていると推察されます

「食材(何から作るのか)」や「料理(何を作るのか)」からの視点だけではなく、「価格(いくらで作れるのか)」「栄養(どのような栄養が取れ、どのように体にいいのか)」といった視点でのレシピはニーズが高く、既存のサービスに付加することによって価値が高まると推察されます。

例えば、レシピサイトで「価格」「栄養」から検索出来る機能や、食材をネットで購入時に「価格」「栄養」がわかるレシピと関連付ける機能などがあれば、利用率の向上につながるのではないのでしょうか。

ご希望の方には、今回調査した全てのデータをお渡しします。お気軽にお問い合わせください。

【営業企画一部/相野谷 竜氏(あいのや りゅうし) ainoya@mdr-j.co.jp】